

若宮小だより 特別号

令和4年10月4日
若宮小学校

4月19日(火)に6年生を対象として「令和4年度全国学力・学習状況調査」が実施され、その調査結果が8月下旬に公表されました。その結果を活かし今後の改善を図っていくために、学校としての主要課題とその改善策などを合わせて報告させていただきます。

《学力状況調査の結果》

国語

漢字や仮名の大きさや配列に注意して書くような基礎的な力を問う項目に関する正答率は高いです。しかし、物語の描写を捉えたり、全体像を想像したり、文章の内容に対して適切な表現効果になる言葉を考えてりするような項目などでは、正答率は低いです。児童が調査に取り組む様子からも問題の意図することやどのように文章を書いたら良いのかなどで悩んでおり、問題を読み込む読解力の育成が必要だと分かりました。

算数

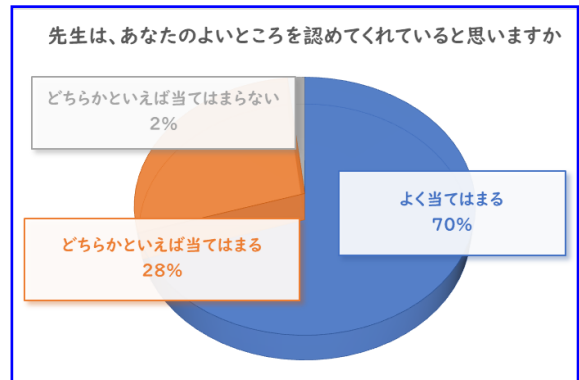
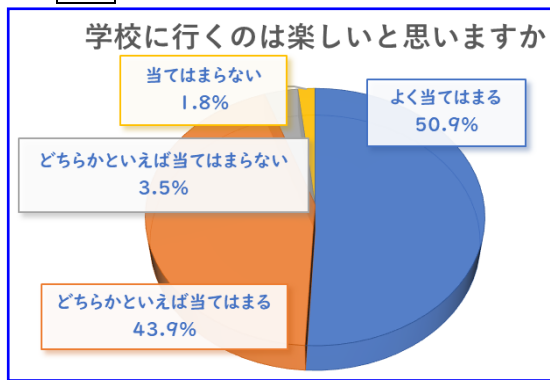
整数のかけ算や百分率で表された割合の計算、割合のグラフの読み取りなどの問題に関する正答率は高いです。しかし、既習であるはずの正三角形や長方形、平行四辺形、ひし形などの図形の意味や性質、構成の仕方について未定着の児童が多いことが分かりました。今回の問題では作図手順を問う出題が多かったため、図形問題の正答率の低さが顕著に表れていました。さらに、全国、兵庫県も同傾向にあります。求め方や考えたことを根拠立てて理由を記述する問題にも苦手意識を持つ子どもたちが多いです。

理科

児童質問紙で、「理科の勉強は好きですか」という項目では84.2%の児童が当てはまる、どちらかと言えば当てはまると答え、「理科の勉強は大切だと思いますか」という項目では96.5%の児童が大切だと考えている結果が出ています。しかし、内容を理解できていると答えた児童は約半数でした。興味関心の持ちやすい「昆虫のつくり」や「カブトムシの育ち方」「観察の記録」に関する問題は高い正答率でしたが、自分で発想した実験方法を考えたり、実験結果から問題を解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述したりするような問題はかなり正答率が下がっています。

《児童質問紙調査の結果》

良好

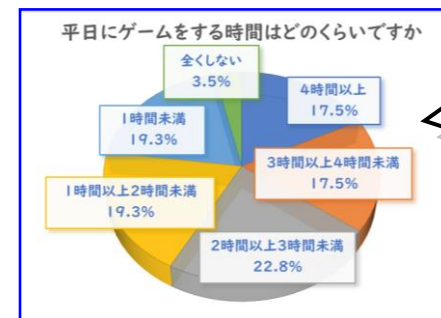


他にも……

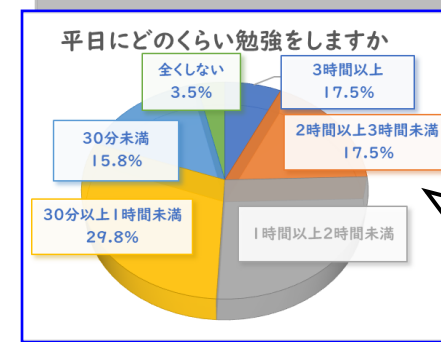
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか……………94.8%
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う……………100%

- ・人の役に立つ人間になりたいと思う……………96.5%
- ・今住んでいる地域の行事に参加している……………77.2% (県平均よりも約27p高い)

課題



平日にテレビゲームをする児童は、1日3時間以上している児童が35%、1時間以上が77.1%いることが分かりました。また、SNSなどの動画視聴をしている児童は、1日3時間以上が24.5%、1時間以上が63.1%でした。これは、全国、県平均と比較してもやや多い傾向でした。



家庭学習(宿題以外)の時間が少ないようです。平日1時間以上勉強をしている児童は50.8%で、全国・県平均と比較してみると勉強時間は約8~10%程度少ないという結果でした。

《今後の改善策》

学習面では、基礎的基本的な知識・技能を活用する以前に、問題の意図するところを読み取れていないことが分かります。課題は読解力です。これは、国語だけでなく、算数、理科に対しても同じことが言えます。また、学習指導要領が新しくなり、「主体的に学習の取り組む態度」が加わりました。その中で、「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるように……ことが求められる。」とあります。「何のために学ぶのか」「どのように学ぶのか」「学んだことは未来にどう生かすことができるのか」など学習に意味づけができることで主体的に取り組む態度が広がっていくと考えられます。加古川市が平成30年度より進めている協同的探究学習を、本校では算数科で取り組んでいます。学習のめあてを子どもたちとつくっていく過程を大切に、読解力向上を目指して研究を深めているところです。問題解決の見方・考え方を育成する授業展開を今後も研究していきます。

質問紙では、テレビの視聴時間・ゲームの利用時間が多いのも毎年の課題です。読書時間や新聞を読む児童が少ないという結果からもテレビやネットで情報を得る児童が多いことが予想され、メディアによる情報化はどんどん進んでいることが分かります。GIGAスクール構想が進む中、必要な場面でのICT機器の活用選択やルールの見直しも学校や家庭でしっかり行っていくことが望まれます。

良好項目では、若宮地域の特色である、地域の行事に参加している児童の割合が全国、県と比較しても約30%高いです。地域行事や地域の方々に見守られて成長していることが分かります。また、毎年10月に行っている『わかみや人権週間』の成果もあり、学校のきまりや約束を守ったり、いじめに対する正しい認識をもったりする人権意識の基礎が培われている児童が多いことが分かります。今後も、児童に寄り添い、日々の変化を直接のかかわりの中や、日記、アンケート等で早期に発見することで、お互いに心の通った教育活動を進めていけるよう全職員が一丸となって取り組んでいきます。

さらに、本校の教育目標である『すこやかで、創造的に生きようとする児童の育成』のためには、保護者の皆様、地域の方々の力が不可欠です。今後も若宮小学校の教育にご理解ご協力よろしくお願いいたします。

やや苦手な問題



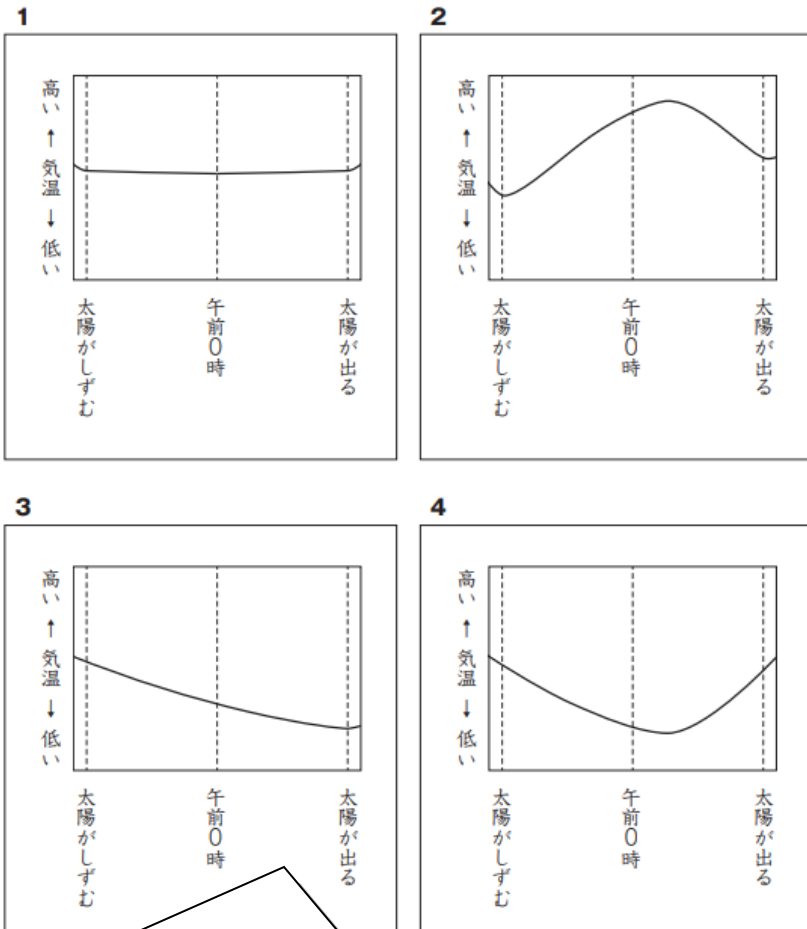
理科 問題4の(2)

夜は、太陽が出ていないから、晴れていても、くもっていても、気温は変化しないと思うよ。



じろうさん

(2) じろうさんの下線部の考えが正しければ、冬の夜の気温は、どのようになると考えられますか。下の 1 から 4 までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



正解は1ですが、まず問題を把握できることが大切です。そして、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができるかどうか(国立教育政策研究所 解説より)が正解への鍵になります。他にも問題2(2)、3(1)、4(4)等もやや苦手としている傾向が表れていました。日常生活との関連を図りながら、身に付けた知識や技能を生活に生かしていく学習を進めていきます。

国語 問題3の三 ア・イ・ウ

運動が苦手な人もウしたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

次の——部ウを漢字でていねいに書きましょう。

そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイはんせいしました。

次の——部イを漢字でていねいに書きましょう。

南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方をアろくがして、各学級にしようかいたいそうです。

次の——部アを漢字でていねいに書きましょう。

三 鳥谷さんは、「文章2」を読み、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イ、ウを漢字に書き直すことにしました。

ア録画 イ反省 ウ親しむ が正解です。熟語を書くアやイでは、画は書くことができるが、録が書くことができなかつたり、反は書くことができるが省を書くことができなかつたりと漢字を文の中で正しく使う問題に課題が見られました。また、問題3の二の「自分のよさ」を、60文字以上100字以内で筆者になりきって書く内容もやや苦手としているようです。根拠を明確にして自分の考えを表現する思考力、判断力、表現力等に向けた学習への取り組みを今後も進めます。

算数 問題4の(4)

(4) 次に、ひろとさんは、下のプログラムをつくりました。

【ひろとさんがつくったプログラム】



【ひろとさんがつくったプログラム】を実行すると、どのような図形をかくことができますか。

下の 1 から 5 までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 二等辺三角形
- 2 長方形
- 3 平行四辺形
- 4 ひし形
- 5 正六角形

正解は3の平行四辺形です。問題に示されたプログラムで図形をかくことができる力が重要です。2組の向い合う辺の長さが等しいことと2組の向い合う角の大きさがそれぞれ等しいことを捉えることで、平行四辺形であると分かります。他にも1(4)、2(1)、2(3)などがやや苦手としている問題です。既習の内容を定着できるようにすることも大切で、その知識や技能を活用して、児童が自力で問題を解決できるような学習方法の工夫が重要です。